



道

学校の教育目標
「ともに学び、
心豊かで
たくましい
子供の育成」

学校再開に向けて

校長 宮島 和生

本日より、市内の全ての小中学校で授業が再開されました。4月10日以降、約1か月に渡る休業措置の間、学校からは子供たちの笑い声や元気に遊ぶ姿が消え、職員一同とても寂しい思いをしておりました。また、期間中、ご家庭では、子供たちの学習面や生活面において学校からの様々なお願いにご協力いただき、どうもありがとうございました。

さて、授業再開に際し、保護者の皆様には、新型コロナウイルスへの感染リスクや学習の遅れを心配されていることと思います。今後は、文部科学省から示されるガイドラインを参考に、滑川市教育委員会と連携をとりながら、教育活動を進めてまいります。子供たちの学校生活において、感染リスクをゼロにすることは大変難しいことです。そこで、手洗いを基本に、手指や机等の消毒、喚気の徹底や校時の工夫等、少しでも3密を避けることができるように、職員会議においても協議、共通理解を図りました。詳細については、裏面に掲載してありますのでご確認ください。今後、再び休業措置となることを避けるためにも、保護者及びご家族の皆様にも、ぜひご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

また、今後の学習についてですが、年度当初は203日の授業日数を予定しておりましたが、再開に合わせ、今後の学校行事の縮小や夏季休業の短縮等も視野に入れ再計算したところ、196日前後の授業日を確保できる見通しとなりました。不足分につきましては、学習内容に合わせて時間数を調整したり、複数学年で指導する内容を見直したりしながら進める予定です。一方的な教え込みではなく、子供たちの主体的な学びや思考力、表現力、判断力が培われるような授業を目指していきます。

しばらくの間、子供たちはこれまでと違った不自由な学校生活を送ることになります。しかし、学校、保護者、地域がみんなで協力しながら再び休業措置となることを避け、教育活動が円滑に行うことができるようご協力をお願いいたします。

◎今年度のアクションプラン・・・目標を掲げて全校で取り組みます。

学習指導	重点課題	好ましい学習習慣の形成
	達成目標	「自主学習に取り組む児童が、80%以上」を目指す。
	方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分から進んで学習する」の目当てをもとに、低学年は60ページ(1冊)/年、中学年は90ページ(1.5冊)/年、高学年は間120ページ(2冊)/年に取り組む。 ・「家庭学習の手引き」を配付し、児童が目当てをもって学習に取り組むことができるようにする。 ・「自主学習ノート」コーナーを設置し、学習の仕方のよさを児童が学び合うことができるようにする。
生活指導	重点課題	しっかりと靴をそろえる児童の育成
	達成目標	「靴をそろえることについての達成者が、全体の90%以上」を目指す。
	方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分から進んで靴を揃える」の目当てをもとに、靴の揃え方を学期毎にチェックする。 ・おむすび計画委員会が中心となり、全校に向けて呼びかけの活動をする。 ・道徳科や学級活動に「靴を揃える」ことについての内容を取り入れ、正しい靴の揃え方を指導し、その必要性について児童が考える機会を設ける。
体力づくり	重点課題	進んで体力づくりに取り組む児童の育成
	達成目標	「『日本一周マラソン』の達成者100%以上」を目指す。
	方 策	・感染対策を行い、短縄とマラソンを体育科の時間に行う。

